

B.C. Canopy Dome Tent

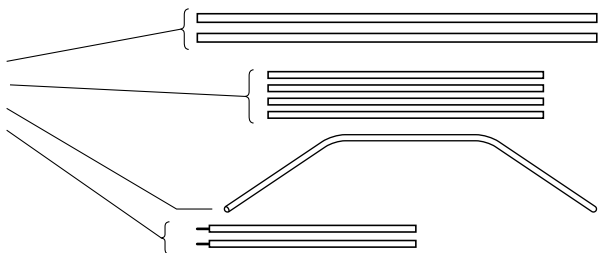
この度はB.C.キャンピードームテントをお買い上げいただき誠に有難うございました。

テント設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。

また、石や木の枝等、テントを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

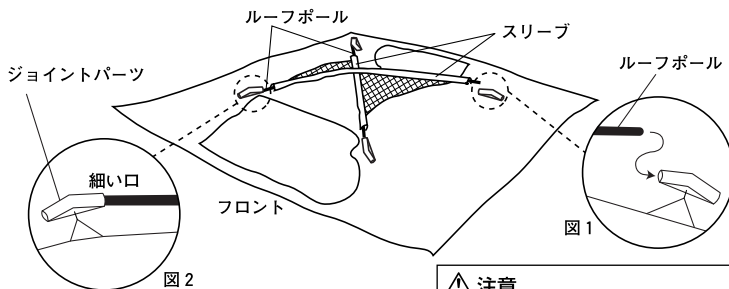
セット内容 お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- 本体（インナーテント） 1張
- フライシート 1張
- ルーフポール（FRP、ブラック） 2本
- コーナーポール（スチール、グリーン） 4本
- フロントポール（FRP、グレー） 1本
- キャンピー用ポール（グリーン） 2本
- 自在ロープ（3M） 8本
- プラスチックベグ 4本
- STピンベグ 13本
- ハンマー 1ヶ



設営手順

STEP 1 インナーテントにポールをセットする



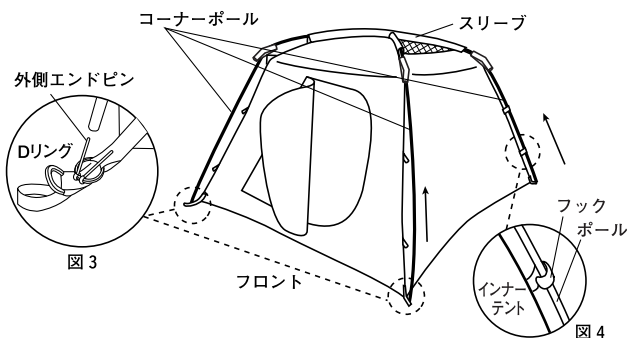
①インナーテントを広げ、ルーフポールを伸ばします。

△注意
ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んで下さい。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

②ルーフポールをクロスするスリーブに通します。各々のポールエンドの端をジョイントパーツの細い口側へ差し込んでください。（図1、図2）

△注意
ポールは引っ張らず必ず押し入れてください。ジョイントパーツの穴は、中にギザギザがついている方がルーフポール用です。

STEP 2 本体を立ち上げる



①出入り口は空気が入りやすいよう、あらかじめファスナーを全開にしておきます。

②コーナーポールをジョイントパーツの太い口側へ差し込み、スリーブを持ちながらコーナーポール4本を押し入れます。

△注意
スリーブを持たずに押し込むとポールが折れたり本体がやぶける事があります。

③立ち上がったらエンドピンにコーナーポールを差し込みます。フロント側は外側のエンドピンに差し込んで下さい。（図3）

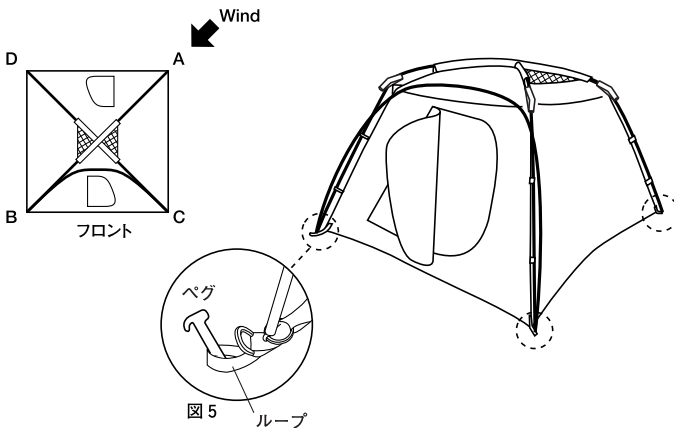
④インナーテントに付いているフックを各ポールに掛けます。この時に手をはさまない様気を付けてください。（図4）

STEP 3 フロントポールをセットする

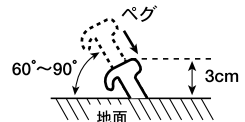


- ①フロントポールをフロントドア側のコーナー2ヶ所に残っている内側エンドピンに差し込みます。

STEP 4 設営位置を決め四隅をペグで固定する

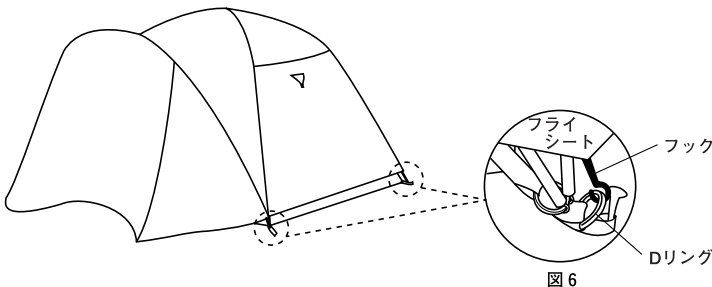


- ①図のように四隅のループを風上より順に(A~D)対角線にペグ打ちしてインナーテントを固定してください。(図5)



ペグは60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

STEP 5 フライシートをインナーテントにセットする



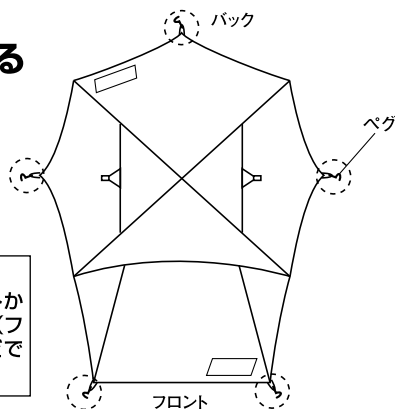
- ①フライシートを後部からフロント側へかぶせます。この時にフロントポールはフライシートの内側に入ります。
- ②フライシート端に付いているフックをインナーテントのループについているDリングに掛け(4ヶ所)(図6)、フライシート内側にあるベルクロテープをループポール、フロントポールに止めて固定します。

STEP 6 フライシートをペグで固定する

- ①フロント、バック、サイドの順に、フライのループをシワがなくなるように外側に引っ張り、ペグで固定してください。

⚠ 注意

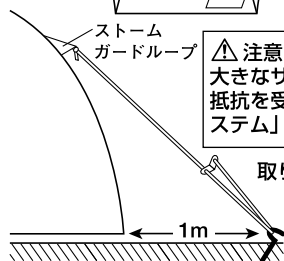
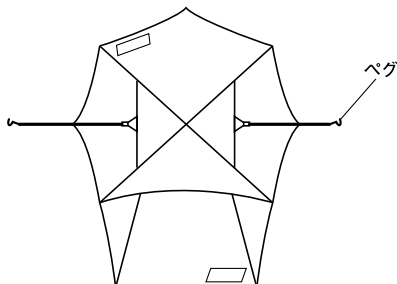
とくに、サイドのループは、インナーテントから十分離れたところで、固定してください。(フライがインナーテントに接触すると結露などでインナーテントが濡れることがあります。)



STEP 7 センターループとストームガードシステムの活用

- ①フライシートの両側面にあるセンターループに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。

テントの安定性を高め、フライとインナーの接触を防ぎます。

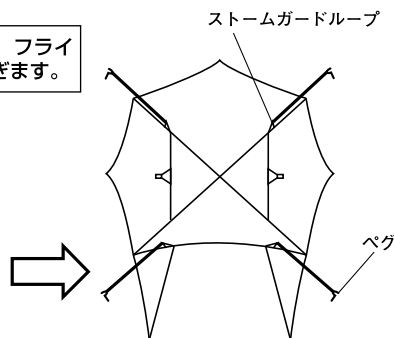


⚠ 注意

大きなサイズのテントはその構造上、風の抵抗を受けやすいので「ストームガードシステム」を必ずご活用ください。

取り付け方

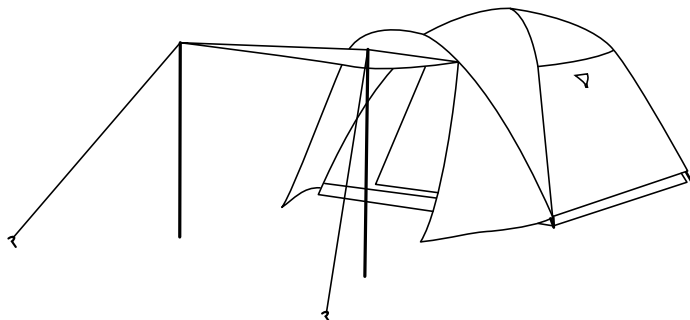
自在ロープの端をストームガードのループに結びます。



- ②上・左図の要領にて4カ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。
- ③自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。

STEP 8 キャノピーの活用

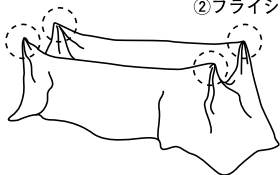
- ①付属のキャノピー用ポールを使い、前室をキャノピーとしてご使用できます。



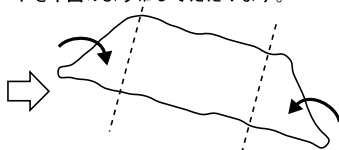
撤収手順

STEP 1 フライシートをたたむ

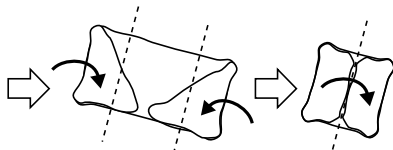
- ①フライシートを固定したベグ、Dリングに掛けたフック、内側にあるベルクロテープすべて外して、フライシートをインナーテントから取り外します。
- ②フライシートを下図のようにしてたたみます。



前後の屋根の四隅を持って、中央を折り込みながら半分にする。



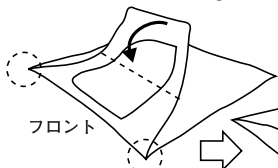
両端を中へ折り込んで長方形にする。



長方形を更に中へ折り込み、1/4のサイズにたたむ。

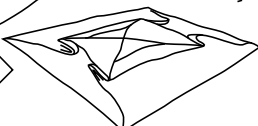
STEP 2 インナーテントをたたむ

- ①インナーテントのフロントポール、コーナーポール、ルーフポールを外します。
- ②インナーテントの四隅をきれいに広げ四角形にしてから、下図のようにしてたたみます。

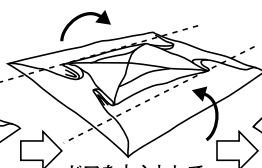


フロント

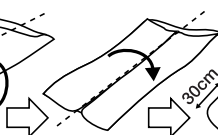
コーナーをおさえながらジョイントパーツを持ってドア面をきれいに伸ばして外側へ折りたたむ。



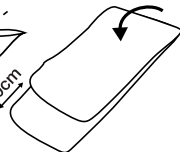
同様に後部ドア側とサイド面も全て同様に折りたたむ。



ドアを中心としてサイド面を内側に折りたたむ。



更に中へ折り込み、1/4のサイズにたたむ。

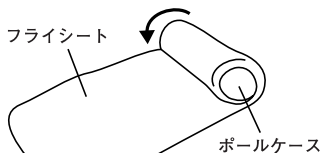


たたんだインナーテントを30cm程ずらすようにして縦にたたむ。

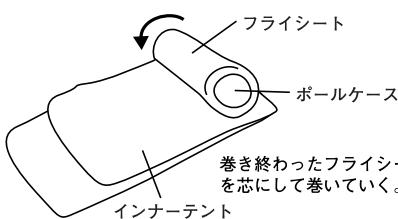
△ 注意
インナーテントは汚れをふき取り、十分に乾かした状態で収納して下さい

STEP 3 ケースに収納する

- ①ポールを全てポールケースに収納します。
- ②最後に、フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリアバッグに収納します。



STEP1でたたんだフライシートをポールケースを芯にして巻いていく。



巻き終わったフライシートを芯にして巻いていく。

インナーテント

△ 注意
固く巻かないとキャリアバッグに入らない場合があります。

△ 取扱上の注意

●テント内での火気の使用は危険ですのでお避けください。また炎から離れたところに設置してください。●テント内と外の気温差が高い時、テント内に水適が生じることがありますが(結露)これは水漏れではありません。窓をあけるなど換気を行なうことで軽減できます。●台風・暴風雨の際は危険ですのでテントの使用はお避けください。

△ 収納・保管の注意

●ご使用後は汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。濡れたままの状態での収納すると色うつりする場合があります。●生地の変色などは市販のリペアーキットで補修が可能です。パーツ交換や本格的な修理が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。